

○提言チーム名 所管横断職員提言検討チームA

○テーマ アジア・国際戦略

○概要

・25年後の世界は…

「アジアの時代」：アジアを中心とした大交流時代

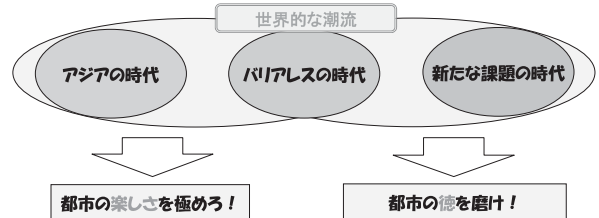
「バリアレスの時代」：人、モノが障壁なく行き交う時代

「新たな課題の時代」：新たな課題に世界で協調して取り組む時代

・25年後も福岡は…

「国境」に接した「国境」を越えていくまちであるという事実には変わりはない。

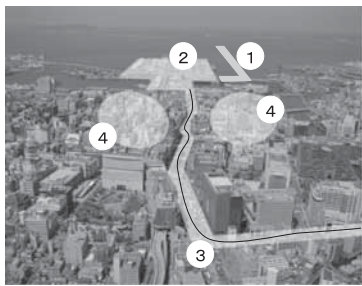
・世界の潮流の中で福岡が目指すべきは…



提言1 「都市の楽しさを極めろ！」

・得意なこと（ポテンシャル）を最大限に発揮でき、「発見」「体験」「ふれあい」の楽しさを極めることで、アジアの観光客を惹き付ける。

エンターテインメントシティFUKUOKAへの大改造計画



1 クルーズ船ハブ港

国際旅客船のターミナルを須崎ふ頭に集中させて、天神のまちとリンクさせる。都心に近いことで利便性を向上させる。

2 楽市楽座特区

自由に交易を行える特区を設け、自由市場を設置。ヒトとモノが福岡で出会う象徴となる場所として整備する。夜には屋台も出て、一大観光地とする。

3 天神-博多間 歩行者天国

須崎ふ頭から博多駅まで続くルート歩行者天国化する。歩行者天国の中央にはLRTが博多駅まで延び、天神-博多間の人の流れを作る。道路の両脇には、露店や屋台が並び一年中お祭りのような賑わいが形成されている。どんたけのようなお祭りが頻繁に開催され、訪れた観光客を楽しませている。

4 食とエンターテインメントのエリア

「食」と「エンターテインメント」のエリアを整備。親富孝通り付近を、アジアのグルメが集まる一大「食」のエリアとして整備する。通りごとに「中華路」「韓国路」「インド路」などと名付け、本場の食が楽しめる料理店を集める。「エンターテインメント」は競艇場を中心に整備し、外国人も気軽に楽しめるギャンブルとして競艇を売り込み、その他の体験型エンターテインメント施設の集積をはかる。

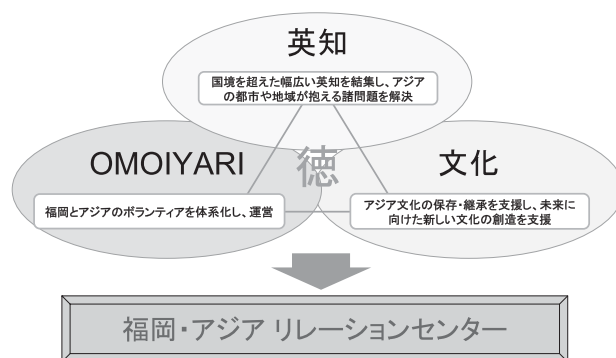
イメージ図



提言2 「都市の徳を磨け！」

・都市の「徳」を磨き続けることで、25年後のアジアの隣人から信頼・共感を勝ち得る。

「福岡・アジア リレーションセンター」の設置



活動イメージ

英知：
福岡がこれまで克服してきた都市問題解決の経験を提供

OMOIYARI：
アジア全域で活動する新しいボランティアシステムを創設

文化：
蓄積したアジア文化の共有、活用を促進

- 提言チーム名 所管横断職員提言検討チームB
- テーマ ひと 創造 つながり
～大名小学校を創造の拠点に～

○概要

- ・福岡はアジアに近いという地理的特性により、様々な文化交流を繰り返し、変化・発展
- ・魅力ある都市として生き残るには、社会の変化に対応していくこと、対応する人材の育成が必要
- ・多様な価値観を受け入れ、創造力を豊かにすることを志す「創造びと」が活躍するまち
- ・「創造びと」を育成する場、「創造びと」を呼び込む場を作り、そこで創造の誘発が繰り返される場が求められる。

⇒大名小学校をリノベーションし、クリエイティブを象徴する福岡の新たな顔として発信する『大名創造がっこう』を提案する。

『大名創造がっこう』のコンセプト

1. 交流・出会いの場

- ～世代や国籍を問わず、
あらゆる人が交流～
- ・気軽に立ち寄れる場
(カフェやギャラリー等)
- ・都心の憩いの場
(校庭でのイベント等)
- ・多様な価値観と出会う入口
(アートセンター)

明治6年(1873)創設 **大名小学校**
学校番号1

昭和4年(1929)築の現存する市内最古のコンクリート校舎

平成26年度(2014)から舞鶴小・簀子小と合併し、新校舎へ



2. 子ども達の創造性を育む場

- ・先進的な保育所で、幼少期から様々な人・モノと触れ合う
- ・乳幼児から本物の芸術に触れる機会を提供
- ・遊びや体験を通じ、創造性を育む(デザイン等)
- ・社会経験の場(子どもが運営するカフェなど)

3. 大人の創造性を誘発する場

- ・チャレンジする人材や外国人の創造びとの場
(レジデンス等)
- ・個人事業主の活動の場(シェアオフィス)
- ・社会的な課題解決の実践の場(ワークショップ)
- ・大人の学びの場(自由大学)



大名から福岡の新たな魅力、文化を創造する!

- 提言チーム名 所管横断職員提言検討チームC
- テーマ 「ふくおかマインド」あふれるまち
- 概要

- ・福岡の人は、人なつっこい、人情に厚い、サービス精神旺盛などの気質を持つ
- ・まちとしてハードの整備は進んできた。これからの時代に必要なのは、整備されたハードの中で、どうやって「人」が幸せに暮らしていくか。



福岡市に住む人みんなが共感・共有できる「ふくおかマインド」があふれるまちを目指すことを提案する。

「ふくおかマインド」は、昔から福岡の人がもっている気質とも相容れるもので、共感・共有することで、みんなの住みやすい福岡市につながる。

ふくおかマインド

働き方に優しさを(ふくおかマインド1) → 働きやすいまちへ

① 仕事と生活のバランスを保つ。

働く人にはそれぞれの家庭生活があること、働き手の代わりはいるが、家族の代わりはいないことをすべての人が理解する。(福岡型ワークシェアリングの推進など)

② 女性が活躍できる環境をつくる。

子どもは社会全体で育てるという理解のもと、女性が出産、育児をしながら活躍できる社会の必要性を認識する。(フレックスタイム制度の普及など)

みんなで安心・安全なまちを(ふくおかマインド2) → 安心・安全に暮らせるまちへ

自助・共助・公助の考えのもと、自分たちのまちは自分たちの手で良くしていこうという考えの浸透・共有を目指す。

① 治安の良いまち

シルバーポリス発足、自主防犯活動等の支援(パトロール等)、モラルの向上(広報・啓発及び教育等)、環境の美化・浄化(綺麗なまちは犯罪が少ない)

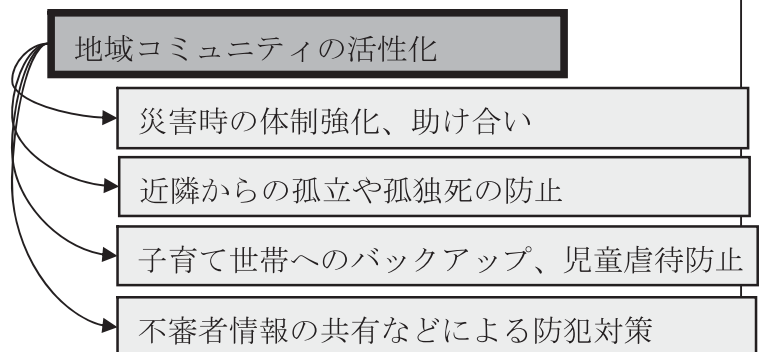
② 災害に強いまちづくり

ユニバーサルデザインを用いた防災環境の整備、地域のつながりの強化による自主防災機能強化、行政による災害対策強化、素早く確実な情報提供

地域に思いやりと調和を(ふくおかマインド3) → 人と人がつながるまちへ

地域社会はあくまで人のつながりが重要であり、これにより解決できる社会問題がたくさんあることを理解する。

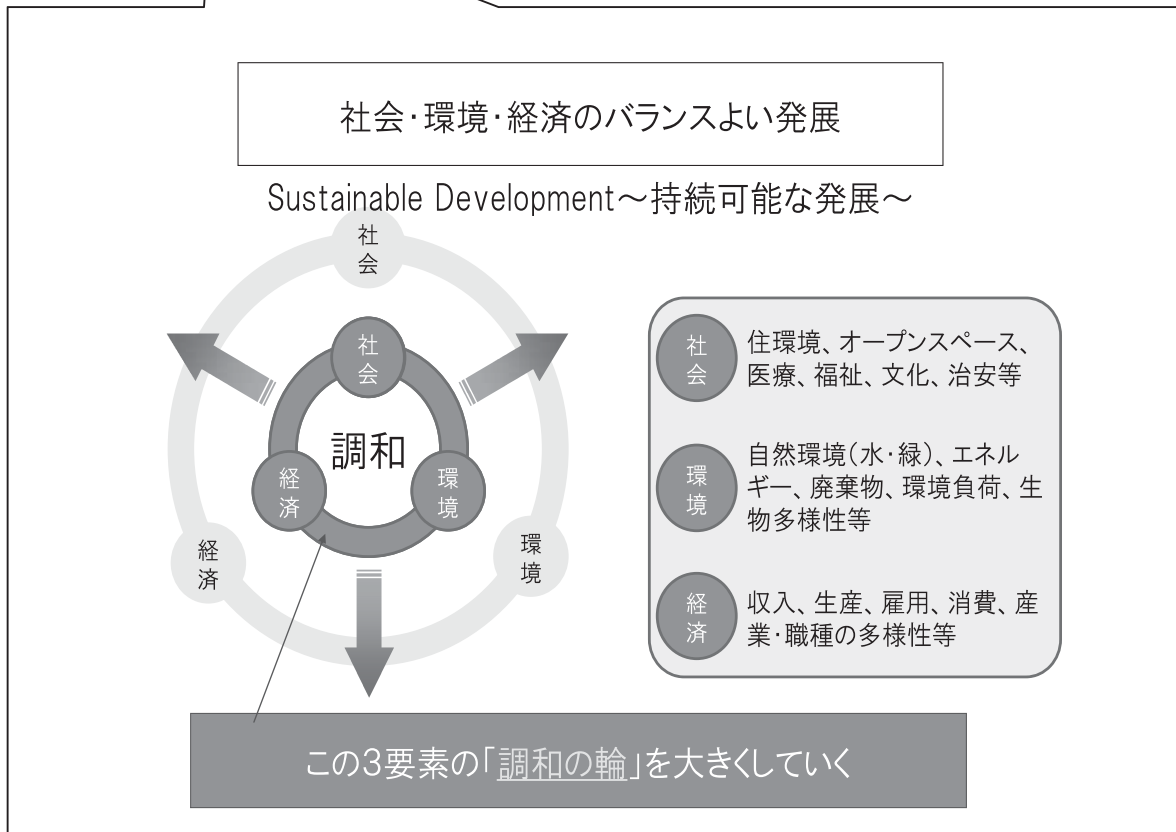
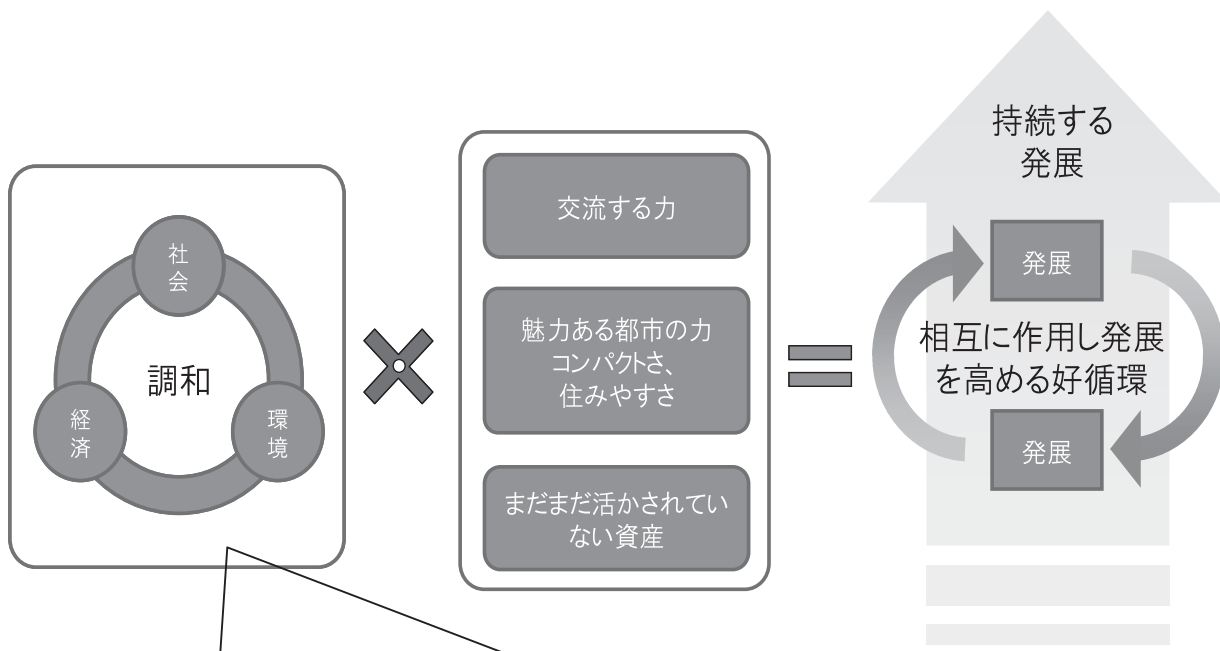
- ・地域活動につながる働き方の見直し(働き方編参照)
- ・地域活動へのインセンティブ(地域活動オリンピック)など



○提言チーム名 所管横断職員提言検討チームD

新ビジョンへの提案：福岡型の持続する発展

「調和」と「強み」により、発展が発展を生む好循環をつくる



○提言チーム名 所管横断職員提言検討チーム E

○テーマ 「学校」が変る!? 「つながり力」でアジアのリーダー都市に

○概要

- 1 このまま25年後を迎えたら・・・→「暗黒の底なし沼シナリオ」へ
 - ・市の人口の1/3以上が60歳以上になる! 50歳以上だと過半数。
 - ・既に高齢世帯の約6割が高齢者のみの世帯。25年後は孤独な高齢世帯ばかり!?
 - ・高齢単身世帯の心配は、健康、生活費、孤独。しかも医療費負担は増える。
 - ・全自殺者の約4割が60歳以上。要因の8割は健康、生活問題。
 - ・福岡市の高齢者は、就業機会の少なさに不満。
 - ・アジアの国々も急速に高齢化
- 2 「つながり力」でシナリオを書き換えよう! アジアのリーダー都市へ
~「暗黒の底なし沼シナリオ」を「Good 輪 (グリーン) シナリオ」に~

Vision 1 人々のつながりからワクワクを生み出すまち

Vision 2 「年寄り」がいないまち 生きがいと「トキメキ」を持って歳を重ねる

Vision 3 三世代で住みたいまち 地域全体で子育て、孫育て

3つの Vision へ向かって「つながり力」でまちもココロも潤い豊かなアジア各国のお手本となる都市~アジアのリーダー都市~へ

- 3 3つの Vision の実現する「コミュニティ・オン・スクール事業」

- ・「つながり力」を向上させる場として「学校」に着目。
- ・「学校」は地域に根差した、誰もが知っている場所
- ・「学校」を人が集まるつながりを生み出す「ハブステーション」にしよう。
- ・「学校」で遊ぶ、学ぶ、仕事をする。
(語学、楽器、農業、ゲームなど興味の湧く色々なことを学び、仲間に出会い、
培った技能でビジネスの機会も)
- ・「学校」を変える。地域、企業、NPO との共働による学校運営へ。

- 4 「コミュニティ・オン・スクール事業」で生み出す効果と可能性
生み出す効果

- ・仲間と居場所ができて、引きこもり防止。健康になって医療費削減。一人よりエコ。
- ・世代を超えた交流により教育力向上。みんなで子育て、孫育て
- ・ビジネスチャンスが生まれ、雇用創出
- ・見守り合いで防犯、非行防止、防災

可能性~こんなことが起こるかも!?

- ・「学校」が地域の憩いの場、地域を良くするための共働の場に。
- ・「学校」で磨いた知識技能で、趣味の甲子園開催、起業、海外進出、国際交流